



令和6年度沖縄県伝統芸能公演  
組踊「子ども × 伝統芸能公演」

創作組踊

# 「能羽の縁」

— 泡ふあぬえにし —

糸蒲村 村踊り縁起

中城村南上原子子ども組踊上演会

作・演出・指導：東江裕吉・新垣悟・比嘉侑子



令和6年12月1日 日 開場：13：30  
開演：14：00

会場：吉の浦会館 多目的ホール (〒901-2407 沖縄県中城村安里187-1)

第1部：琉球舞踊

第2部：創作組踊「能羽の縁」※字幕標示がございます

**入場料** 成人：1,000円 親子券：1,500円 高校生以下：500円 未就学児：無料

チケット販売開始：令和6年10月1日(火)

ご予約・お問合せ：中城村南上原組踊保存会 TEL.090-2715-5126

主催：中城村南上原組踊保存会 / 共催：公益財団法人 沖縄県文化振興会、南上原自治会 / 後援：沖縄県、中城村、中城村教育委員会

かりゆし  
芸能公演

創作組踊

# 能羽の縁

—ぬふあぬえにし—

令和6年度沖縄県伝統芸能公演  
糸蒲村 村踊り縁起

## 第1部

琉球舞踊 かぎやで風 浜千鳥 月眺め 松竹梅

## 第2部

解説

創作組踊 糸蒲村 村踊り縁起「能羽の縁」

組踊は1719年に玉城朝薫が創作上演したのが始まりで、2010年にユネスコ無形文化遺産に登録された沖縄の伝統芸能です。「能羽の縁」は南上原の第2作目の組踊で、中城村南上原地区の史跡やかつての村の暮らしや風景を題材に令和5年に東江裕吉・新垣悟氏により創作されました。

今から300年前の糸蒲村（南上原）を舞台に、首里から田舎降りしてきたもと士族一家と糸蒲村の村人達が能羽（芸能）を通して絆が生まれ、能羽が糸蒲村の発展に寄与する物語です。舞台では子供たちが家族愛、糸蒲娘の乙女ごころを表現し、終盤のハンタ道復旧工事の祝宴では数々の舞踊を披露します。

組踊を初めてご覧いただく方にも楽しんでいただけるよう解説や字幕表示もごさいます。

皆様のお越しをお待ちしています！

令和6年

12/1日

会場：吉の浦会館 多目的ホール

開演：14:00(開場 13:30)

